

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299

【安東支部】 報告者：上長者 辰雄

○ **皇帝ダリアの増やし方に挑戦中**

昨年、はじめて皇帝ダリアを挿し木から育てることに挑戦したところ、立派に成長し、11月に綺麗な花が咲き感動しました。今年は、昨年の経験を踏まえ、皇帝ダリアを増やすことに挑戦中です。

皇帝ダリアの増やし方は、幹から茎を付けた挿し木を作り、挿し木から芽を出させるのが基本です。インターネットで調べると、芽を出させる方法はいろいろあり、地域・場所、天候、管理状態などに左右されて、芽が出ない事例もあるようです。そこで、私は、昨年12月に霜で花が萎んだ皇帝ダリアの幹を切り倒して、茎付きの挿し木を作りました。更に知人から挿し木を貰い受け、これらの挿し木を活用して、次の四つの方法で、皇帝ダリアを増やすことに取り組んでいます。

一つ目は、挿し木を定植地に植え、枯葉、藁などで保温する。



【挿し木の定置】



【ミズゴケ巻き】

二つ目は、発泡スチロールの中にミズゴケに包んだ挿し木を入れて屋内に保管する。



【赤玉土植え】

三つ目は、発泡スチロールの中に赤玉土を入れ挿し木を挿して屋内に保管する。

四つ目は、挿し木を新聞紙に包み、発砲スチロールの容器に入れ水をかけ屋内で保管する。



【新聞紙巻き】

二・三・四つ目は、今春、芽が出たものを定植します。

四つの方法のすべての挿し木が芽を出してくれることを祈り、楽しみにしています。

○ **毘沙門天へ初詣・権現山山頂でご来光を拝む
～カープ日本一・花いっぱい運動の発展を祈願～**

2017年の干支は、「丁酉」(ひのととり)です。丁と酉の組み合わせは、相剋(そうこく)関係であり、順調でないと予測されています。とはいえ「酉」年だけでいえば物事が頂点を極める年だといわれています。



【毘沙門天に初詣】

どちらで捉えるかはありますが、慎重な行動を心がけようと思います。

さて、昨年は広島東洋カープが25年ぶりにリーグ制覇を達成し、大きな感動と喜びを実感することができました。今年は、是非とも33年ぶりの日本一を達成して欲しいと思います。

元日、地元の毘沙門天に初詣に行き、世界平和、家内安全、健康長寿、孫娘の合格と共に広島カープ日本一制覇、花いっぱい運動の更なる発展を祈願しました。



【権現山のご来光】

毘沙門天参拝後、権現山に登りご来光を拝み、今年がよい年であるよう祈りました。

【沼田支部】 報告者： 田川博子

沼田での花づくり

あっという間に1月が来て、新年となりました。寒さはまだまだ続きそうですね。

この時期はあまり花も咲いていません。5月頃、パンジー、ビオラの種蒔きをし、ポットへの移植、肥料や水やり…と花育に取り組んでいます。

小さな小さな種子をまき、発芽して、小さな葉から大きな葉に成長し、小さな蕾となり、そして開花していく過程は非常に感動し、いとおしく思います。まさしく、「自然に感謝」と実感します。蕾を発見した時は今までの苦労が吹っ飛びます。



ヌマジ交通ミュージアムと瀬戸内ハイツの入り口で懸命に育てている最中ですが、通りすがりの人から「きれいですね。」「毎日楽しみに見えていますよ。」と言葉をかけていただき、非常にやりがいを感じつつ、花育とは子育てと同じで、愛・思いやりが必要だと実感しています。「花いっぱい運動」に精進していくつもりで頑張りたいと思います。



【瀬戸内ハイツ入口花壇の作業中】



【ヌマジ交通ミュージアムの花壇】

【祇園西支部】 報告者： 境 幸美

見た目も華やか!踊り葉牡丹

極寒の中でもひととき目立つ葉牡丹。最近の種類も豊富でつい求めてしまいます。花が終わっても数年楽しめる踊り葉牡丹を紹介します。

【踊り葉牡丹の育て方】

春になり、とう立ちし、花を咲かせます。咲き終えて種が大きくならないうちに種の下で切ります。



そうすると、横から芽が出てまた花が咲きます。これを何度か繰り返すと一本の木にたくさんの葉牡丹がくっついている状態になります。

6月から7月にかけて小さな芽は取り除いて、好みの形や本数にして育てます。8月から9月にかけて、化成肥料を少し与え枝を整えます。この間1か月ごとにオルトラン等の殺虫剤で防虫対策をします。

夏場はキャベツのように青い葉が色づいてきれいになります。

★長束集会所近くの葉牡丹です。近くを通るたびに感心します。

地植えで2m以上に成長した5年物の赤の丸葉の葉牡丹です。



鉢植えで1m位の3年物のチヂミ葉牡丹です。